課題番号：2026-207
作成日：2026 年　　10 月　　5 日　第 1.2 版

MET 阻害薬による浮腫の経過と対応に関する研究

MET 阻害薬の浮腫に対する SGLT2 阻害薬とフロセミドの併用療法の有用性

１．研究の対象

2020 年 6 月～2026 年 5 月に国立がん研究センター中央病院および静岡がんセンターで MET 阻害薬（テポチニブ、カプマチニブ、グマロンチニブ）による治療を受けた肺がん患者さん。

２．研究目的・方法

研究目的： MET 阻害薬による浮腫の状態に対する、心不全の治療薬である SGLT2 阻害薬とフロセミドの併用療法の効果を確認することです。
研究方法：研究対象者の診療録から治療歴などの診療情報を抽出し、解析を行います。
研究実施期間：研究許可日～2027 年 12 月 31 日

３．研究に用いる試料・情報の種類

診療録から浮腫を伴う心不全に関する情報を確認します。フロセミドおよび SGLT2 阻害薬で治療した患者の、末梢性浮腫の Grade、浮腫を伴う心不全による MET 阻害薬の減量、休薬、中止の有無、浮腫に対する治療の内容、血液検査項目（アルブミン、クレアチニン、ヘマトクリット）、体重などを確認します。

４．試料・情報の授受

試料・情報の授受は、セキュリティ対策を施した上で行います。
具体的には、ロックをかけられる記録媒体を研究者が携行する方法で実施します。
対応表は、提供元機関の研究責任者が保管・管理します。

５．研究組織・研究責任者

国立がん研究センター中央病院　総合内科　親川拓也（研究責任者）
国立がん研究センター中央病院　総合内科　庄司正昭
既存試料・情報の提供のみを行う機関：静岡県立静岡がんセンター　腫瘍循環器科　親川拓也

６．お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
〒104-0045　住所：東京都中央区築地 5-1-1
電話：03-3542-2511
国立がん研究センター中央病院　総合内科　親川拓也